



平成26年11月14日

各 位

会社名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号 3113 東証第二部)
問合せ先 広報・IR室長 小玉 誠一
(TEL. 03-5412-7700)

シンバイオ製薬株式会社（東証JQG 4582）に向けた成長支援投資のお知らせ

当社はこの度、シンバイオ製薬株式会社（以下「シンバイオ」）の成長支援を目的とした15億円のエクイティファイナンスの引受を決定いたしましたので、その概要に関し下記の通りお知らせいたします。

記

1. シンバイオ社「スペシャリティ・ファーマ」を目指す成長戦略に向けた支援投資

□シンバイオ社の優位性について

シンバイオ社のビジネスモデルの特長及び強みは、新薬としての有効性・安全性が既に確認されている、臨床試験の開発ステージが比較的後期段階にある有望な候補品または、既に海外で販売されている製品を導入することで承認・発売までの期間を5~6年以内に短縮するとともに、成功率を高める事業戦略を図っております。

また、同社の優位性は、「がん、血液、自己免疫疾患」の3つの疾患分野に特化し、医薬品業界に於いて開発力や目利き力、ローコストなファブレス経営により、成功確率を高め、スピードを持って新薬の製品化を実現できることです。また、同社の活動は、最先端の臨床、研究の場と直結しており、世界中から優れた実績と豊富な経験をもつ臨床医・基礎科学者が、創薬研究および新薬開発にアドバイザーとして参画されており、各領域における最先端の知識を背景にした的確な判断力により支えられています。

□事業進捗について

同社の成功事例として、開発第1号品である抗がん剤トレアキシンは、導入から承認まで約5年で実現し、エーザイ株式会社を通じて、平成22年12月より国内販売を開始し、発売3年で市場規模の5割程度を獲得しています。

以上のように、同社は、開発期間の短縮によりコスト低減を図り、「がん、血液、自己免疫疾患」の3つの特化した領域で高収益が可能なビジネスモデルを構築し、未充足の医療ニーズを満たしてゆく「スペシャリティ・ファーマ」を目指して、新薬開発を行うことを企業使命としております。

□今後の成長戦略について

現在、同社は、新規開発候補品について、欧米の製薬企業等との間でライセンス契約の締結へ向けた交渉を行っており、この度のエクイティファイナンスによる調達額はこれらの候補品の導入に関わる費用の現時点での見積もり額を基にしております。

今後の同社の成長戦略は、医療ニーズの高い有望な新薬候補品を継続的に導入することにより、国内市場のみならず、既に発売開始をしている韓国、台湾、シンガポールを初めとする海外市場への展開強化を図り、売上拡大の機会を獲得することであり、この度の資金調達は、同社の成長戦略達成に寄与するものと考えております。

2. シンバイオ社への投資総額15億円の内訳

転換社債型新株予約権付社債の引受け：	5 億円
新株予約権の引受け：	10 億円（権利行使による払込み予定総額）
合 計：	15 億円

3. 投資後の出資比率

投資総額の当社出資比率は13.26%であります。

4. 投資実行の予定日

払込期日：平成26年12月1日

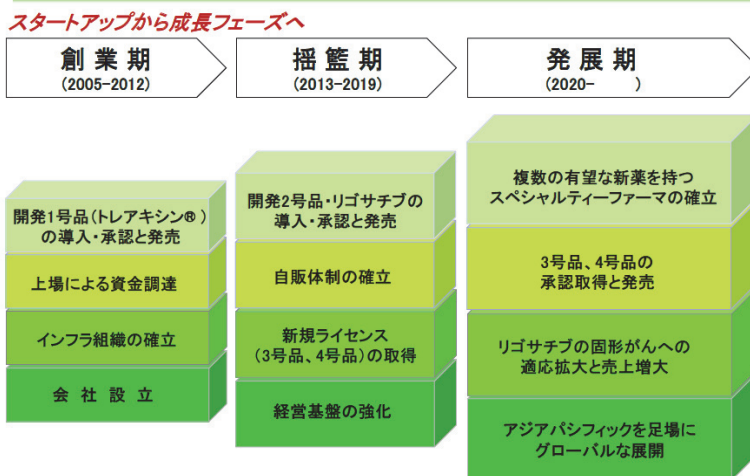
5. シンバイオ会社概要 (平成26年9月19日現在)

- (1) 商号：シンバイオ製薬株式会社 (東証JQ 4582)
- (2) 代表者：代表取締役社長兼CEO 吉田 文紀
- (3) 所在地：東京都港区虎ノ門三丁目2番2号 虎ノ門30 森ビル
- (4) 設立：平成17年(2005年)3月
- (5) 決算期：12月
- (6) 従業員数：72名
- (7) 資本金：80億58百万円(平成26年6月30日現在)
- (8) 発行済株式総数：30,724,257株
- (9) 株主構成：吉田文紀 10.16%、セファロンインク 8.42%、ジャフコV2共有投資事業有限責任組合 6.00% 他
- (10) URL：http://www.symbiopharma.com/index.html
- (11) 事業内容：医薬品販売事業
がん、血液、自己免疫疾患の3領域に特化し、他社から新約候補品を取得し製品化。

※代表的製品(開発品)

トレアキシン® (一般名:ペンダムスチン塩酸塩)	rigosertib (リゴサチブ)
<p>適応症</p> <p>再発・難治性低悪性度非ホジキンリンパ腫・マントル細胞リンパ腫</p>	<p>目標適応症</p> <p>骨髄異形成症候群(MDS)</p>
<p>□平成22年12月 国内販売開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務提携先のエーザイ株式会社を通じ販売 <p>■日米欧を含め世界61カ国で既に承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優れた有効性、安全性が実証されている ・二つの抗がん剤機能を持ち合わせたユニークな抗がん剤 ・複数の適応拡大の可能性 ・他の抗がん剤との併用により、更に市場が拡大する可能性がある 	<p>□平成23年7月開発導入</p> <p>■臨床試験中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性が高く、他の抗がん剤と併用が可能 ・2026年まで物資特許が有効 ・注射剤、経口剤、双方の剤型を併せ持つ

シンバイオの事業戦略の展開



出所：シンバイオ製薬株式会社 平成26年度中間決算説明会資料

6. 本投資を決定した理由

Oakキャピタルは本投資によって、シンバイオ社が目指す「スペシャリティ・ファーマ」の確立を通じて、同社が開発する新薬が医療の現場に提供され、人々の健康に貢献できる事を願っております。

また、同事業の戦略が同社の更なる成長の糧となり、製薬会社として企業価値向上に繋がる事を期待しております。

以上